

平成 27 年 1 月 23 日

各 位

東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 15 号
株 式 会 社 オウケイウェイヴ
代表取締役社長 兼 元 謙 任
(コード番号:3808 名証セントレックス)
問い合わせ先 取締役経営管理本部長 野崎正徳
電 話 番 号 03-5793-1195

業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえて、平成 26 年 8 月 12 日に公表した平成 27 年 6 月期（平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）第 2 四半期累計期間及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、繰延税金資産の取り崩しを行う見通しとなったため、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

(1) 平成 27 年 6 月期第 2 四半期累計業績予想（平成 26 年 7 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,400	△20	△30	△30	△3 45
今回修正予想 (B)	1,399	△47	△11	△44	△5 06
増減額 (B-A)	△1	△27	19	△14	
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績	1,609	△242	△241	△190	△22 16

(2) 平成 27 年 6 月期業績予想（平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,100	140	100	100	11 50
今回修正予想 (B)	2,800	20	40	10	1 15
増減額 (B-A)	△300	△120	△60	△90	
増減率 (%)	△9.7	△85.7	△60.0	△90.0	
(ご参考) 前期実績	3,241	△349	△344	△410	△47 54

2. 修正の理由

(1) 第 2 四半期累計業績予想

第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、売上高はほぼ想定通り推移した半面、営業損益は、連結子会社株式会社ブリックスにおいて通信回線販売サービスを行う営業アウトソーシング事業の撤退に想定よりも時間を要したことから、当初想定を下回る見通しとなりました。経常損益は、外貨預金にかかる為替差益の計上等により当初想定を上回る見通しとなりました。四半期純損益は、繰延税金資産を取り崩すため、当初想定を下回る見通しとなりました。

(2) 通期業績予想

通期の連結業績予想につきましては、エンタープライズソリューション事業において販売単価が向上するも、新規契約数が当初想定を下回る見通しとなりました。ナレッジマーケット事業の課金制サイトにおいては、拡大成長の見込みですが、携帯電話キャリア会社の方針変更により、広告宣伝が予定通りに行えず、新規会員獲得数が想定を下回る見通しです。また、ソーシャルメディア事業においては、当社が運営する Q&A コミュニティ「OKWave」は堅調に推移する見込みですが、取引先であるエヌ・ティ・ティレゾナント株式会社との契約変更に伴い、同社が運営するサイト「教えて！goo」からの広告収入が減少することとなりました。これらのことから、売上高は当初想定を下回る見通しとなりました。費用面では、収益基盤のサービスに集中したことによる費用削減効果があるものの、売上高の未達を補うに至らず、営業利益は当初想定を下回る見通しとなりました。経常損益、当期純損益に関しましても、第2四半期累計期間までの業績動向を鑑み修正となりました。

なお、今後は当社独自の強みである Q&A コミュニティのプラットフォームを中心に、個人、企業、専門家、多言語の4軸でユーザーの利便性を高め、シナジーを生み出すビジネスモデルを構築することによって、収益性を上げてまいります。この取り組みの結果、最終損益は黒字となる見込みです。

3. 繰延税金資産の取り崩しについて

繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩すこととし、法人税等調整額を44百万円計上する見通しであります。

(注) 上記に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績等は業況の変化等により、上記の予想数値と異なる可能性があります。

以 上